



胎地第185号

平成19年4月25日

国土交通省道路局長 様

新潟県胎内市長 吉田和夫



「中期的な計画の作成にあたっての意見」提出について

平成19年4月2日付け国道企第114号により依頼のあったこと  
について、別紙のとおり提出します。

## 中期的な計画の作成にあたっての意見書

### 重点化を進める上で特に優先度の高い政策

胎内市は平野部と山間部を連絡する県道が市内に一本だけ走っている。羽越水害ではこの路線が決壊し通行不能となり被害状況や被災者の救助が難航した経過がある。このように災害が発生した場合一番大切なのは連絡道路の確保である。1路線だけでなく複数の道路があって初めて機能する。そこで、この県道以外にも整備が必要である。

高速道路とアクセスする道路そして国・県・市町村道が連絡しあって、それぞれの道路が生きてくることから、道路網を整備することが最優先の課題であると考えています。

### 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

予算の関係で工事が複数年にまたがることもあるが、そのことによって仮設工事や手戻り工事が生じることがある。これを防ぐために、手戻りにならない工事ができるまで、重点的に予算づけをして、効率化を図るべきである。

### その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

都会では公共交通が発達し便利であることから、車の使用は休日などにかぎられている。しかし、地方では車なしでは生活できないので、毎日の通勤や買い物などで、一人一台の車を使用しているのが、多くの税金を支払っている。しかし現在は都市部中心の道路整備が行われています。そこで地方の道路整備が進められるよう道路特定財源の配分を地方に多くすべきである。

道路は作るだけでなく、維持管理が大変大切である。住民の方々が安心して快適な運転ができるためにも維持管理が必要である。また当市は雪国であるため冬期間の除雪が大切である。消雪パイプの整備など、地域住民の道路に対する、要望がものすごく多くなっている。しかし、予算の関係もあり整備が遅れている実情である。これら地域住民の要望に答え、日常生活の利便を図るためにも県だけでなく、市町村にも道路特定財源の配分を増やすべきである。

地方の道路整備を推進していくために、道路特定財源はすべて道路整備に充  
当すべきと考えています。

平成19年4月25日

新潟県 胎内市

胎内市長 吉田和夫

